白銀南小

# 学ぶ意欲を高めるための指導の工夫

## ～国語科における問題解決的な学習を軸とした授業実践を通して～

（３年計画の３年次）

校長　　越　戸　　順　子

### １　研究主題について

本校の児童は，明るく素直で，与えられた課題に対してまじめに取り組む。しかし，自分の力を高めようと意欲をもって自ら進んで学習に取り組むという点では，消極的な姿が見られる。このような実態から，本校では，教育目標として「豊かな心をもち，主体的に活動する子」，努力目標として「進んで学習する子」を掲げ，自ら課題を見つけ，問題解決に向けて意欲的に取り組む児童の育成を目指している。

校内研究では，２８年度以降，国語科を中心に，書く力や読む力の育成に取り組んできている。令和元年度からは，児童がより主体的に学習に取り組み，思考力・判断力・表現力を伸ばしていくことを目標に，国語科における「問題解決的な学習」を軸とし研究を進めてきた。「二択」「言葉の追加」「対比」などのしかけにより，思考のずれを起こさせる問いや，文章を読み直す必要のある問いをもたせることなど，課題設定の工夫をすることで，問題解決の意欲を高めることができた。また，全員に自分の考えの立場を明らかにさせることで，文章から根拠を探そうとする主体的な読みにつながり，叙述からの読み取りを大切にする意識が高まった。しかし，考える土台を揃える必要性，問いのもたせ方や焦点化，児童の変容の見取り方など，いくつかの課題も見いだされた。

そこで，今年度も国語科における問題解決的な学習を軸に研究を継続し，これらの課題を解決したいと考える。「指導する用語を整理し，児童一人一人の土台を揃えること」「児童の思考の流れに沿った学習課題の設定や提示を工夫し，児童の考えをゆさぶり考えさせる授業を展開すること」「考えの変容を児童同士が分かるように対話の視点を明確にすること」などによって学ぶ意欲が高められると考え，本研究主題を設定した。

### ２　研究のねらい

問題解決に向けて意欲的に取り組むための効果的な指導のあり方を，国語科の授業実践を通して明らかにする。

### ３　研究仮説

(1) 児童一人一人に問いをもたせる学習課題を設定し，話合い活動の充実を図ることによって，児童が課題解決に向かうことができる。

(2)「わかった！できた！身についた！」が実感できる振り返り（自己評価・相互評価）を充実させることによって，児童の学ぶ意欲を高めることができる。

### ４　研究内容

(1) 学習課題の工夫（一人一人に問いをもたせる課題設定・提示の仕方）

(2) 課題解決に向けての話合いの工夫

(3) 評価の工夫（変容を見取り，次の学びに生かす評価）

## ５　研究の経過

(1) 研究仮説に基づく授業研究

| 月 | 日 | 題材名・授業者・助言者 | 授業の概要 |
|---|---|---|---|
| ６ | ３０ | 第１回授業研究（４学年）<br>〇事実を分かりやすくほうこくしよう<br>「新聞を作ろう」<br>授業者　教諭　木村　智花 | 教師の適切ではない見出しの提示が問いを共有させ，意欲的な自力解決に向かわせた。またグループの話合いを通して他の考えのよさに気付き，よりよい見出しにしようとする意識の高まりが感じられた。 |
| ９ | ２９ | 第２回授業研究（５学年）<br>〇伝記を読み，自分の生き方について考えよう<br>「やなせたかしーアンパンマンの勇気」<br>授業者　教諭　髙橋　裕子 | 自作のポスターの見出しをクイズ形式にしてグループで紹介し合うことで意欲を喚起した。また仲間分けをしたキーワードについて意見交流することを通して考えを広げることができた。 |
| １１ | ４ | 第３回授業研究（１学年）要請訪問<br>〇せつめいする文しょうをよもう<br>「じどう車くらべ」<br>授業者　教諭　平田真亜子<br>助言者 八戸市教育委員会 教育指導課<br>主任指導主事 福田　秀貴氏 | 順序を変えた絵カードを並び替え，その根拠を考えさせることによって，学習課題を共有させた。また，クレーン車を最後にした理由を交流しまとめることで，次時の自動車図鑑を作る活動への意欲につなげることができた。 |

(2) 一般研修

| 月 | 日 | 研修名 | 講　　師 | 内　　容 |
|---|---|---|---|---|
| ４ | ２８ | 子ども理解のための情報交換 | 担当：生徒指導部 | 支援を要する児童についての共通理解を図る。 |
| ５ | ２６ | １人１台端末活用研修① | 八戸市立白銀南小学校<br>教頭　石岡　茂樹 | Chromebook を活用したリモート授業の仕方を学ぶ。 |
| ６ | １１ | １人１台端末活用研修② | 八戸市総合教育センター<br>主任指導主事 石井一二三氏 | Chromebook を活用した授業実践を学ぶ。 |
| ９ | １ | ＡＥＤ講習会 | 八戸市立白銀南小学校<br>養護教諭　小野梨花子 | 心肺蘇生法や気道内異物除去についての演習を行う。 |
| １１ | １７ | 特別支援教育研修 | | ４つの特別支援学級の授業参観を通して児童理解や学習の仕方を学ぶ。 |

## ６　研究の成果

(1) 導入で学習のしかけをすることによって児童の思考のずれを引き出し，問いを共有させることができた。また，１時間を貫く学習課題の設定が児童の意欲につながった。

(2) ペアやグループでの話合いの場の設定や「反応プロへの道」の日常的な取組が，聞こうとする意識の向上や認め合う学級の雰囲気につながり，積極的に自分の考えを発信したり根拠をつけて説明したりできる児童が増えた。

(3) 「振り返りのポイント」をもとにわかったことや難しかったところ，次にやってみたいことを書ける児童が増え，次時への学習意欲にもつながった。

## ７　研究の課題

(1) 相手の話を聞いて肯定的な反応はできるが，疑問や問い返し，相手の意見につなげて話し合うことはまだ不十分なので，今後も研究していく必要がある。

(2) 学習課題に対する振り返りはできるようになってきたが，自分の変容を見取ったり，友達の考えを取り入れたりする多面的な振り返りができるように，段階をふんで指導していく必要がある。

（記入者　中野　　千香）